

『星空とクリスマスチャリティコンサート』開催報告

2025.1.12.

12月23日(月)に北とぴあのドームホールでM for M主催『星空とクリスマス チャリティコンサート』を開催致しました。栞路にゆかりのある学習院の先輩と後輩の音楽愛好家がM for Mの主旨に賛同して演奏をご担当くださいました。学習院大学教授の加藤耕義氏(オーボエ)がコンサート準備からリハーサル、本番まで統括し、フライヤーとプログラムデザインは、栞路と同年で現在学習院大学院生の岡本茉莉氏(チェロ)が担当しました。

コンサートでは、星やクリスマスにまつわる曲を楽しみ、冬の星座解説と小惑星カンチの神秘の軌道について、来場者の皆様と演奏者、スタッフ、総勢100名を越える人々が共有いたしました。

開演前に栞路の演奏動画が元プラネタリウムの壁面に投影されました。演奏は、栞路が9歳のときのG. B. Sammartiniのチェロソナタ G-dur op.65 第2,3楽章の演奏と18歳のときのF. ChopinのCello Sonata in G Minor, Op. 65 第3楽章です。

つづいて、クラウドファンディング運営会社Readyforの堀井様が、来場者の方々に「病院に心のリハビリのための防音室設置プロジェクト」の説明を行ない、お知り合いの方にこのプロジェクトを伝えていただきたい旨をお話しました。

休憩後の第二部にて、山本の同僚で、天文学が専門、浄土宗阿弥陀寺住職の松濤誠之氏が、国立天文台の御協力を得て動画作成し、来場者の方々にコンサート当日の夜の星座と小惑星カンチ(1996年愛媛県の天文台で発見)についてお話くださいました。木星と火星の間にある小惑星群の中にいる小惑星カンチは、主に星占いの星座の場所を次々に訪ね歩いてゆくとのことですが、『星空とクリスマス チャリティコンサート』当日の夜は、栞路母の星座である牡羊座のお腹のあたりにいるとのことでした。この神秘的な偶然に会場から感嘆の声があがりました。

星空に戻った栞路の初めてのチェロは、3歳になる前のクリスマスプレゼントでした。今回の『星空とクリスマス チャリティコンサート』は、クリスマスの時期に元プラネタリウムの北とぴあドームホールで行われましたが、振り返ってみれば、すべて導かれて開催したものと思わずにはられません。

M for Mの演奏会の第一の目的は、音楽と医療を結びつけるM for Mの活動を世に広めることにあります。今回は、クラウドファンディング中の主催演奏会ということで、クラウドファンディング運営会社の方にご説明と広報をご担当いただきました。前日に放送されたBAY FMのBAY Morning GloryによるM for Mの活動のアナウンスや千葉県内のクリスマスコンサート会場での挟み込み等との相乗効果により、その後のクラウドファンディングの支援の伸びは大きく、開催成果があったと思われます。(文責 山本昭夫)

下記が今回の『星空とクリスマス チャリティコンサート』収支です。元プラネタリウムのドームホール使用のため、譜面台ライトを 10 台購入しました。以後、この費用はかかりません。¥55,224 が M for M の活動への寄付になります。

収入		支出	
チケット演奏会 86 枚 * 2,000 円	¥172,000	チラシ	¥5,060
		プログラム	¥28,556
		ホール使用	¥43,140
		リハーサル室使用	¥8,000
		楽譜	¥9,380
		譜面台ライト・備品	¥22,640
		M for M へ寄付	¥55,224
	¥172,000		¥172,000

会計 松岡由紀子